

# ユニバー代表選手決まる

加賀屋博文

8月にブルガリアで開催される第13回世界大学オリエンテーリング選手権大会（通称ユニバー）の代表選手が去る4月28日の代表選考会で決まった。

女子5名、男子6名の計11名の選手が世界の舞台に挑戦する。

## 目標は複数の予選通過

代表チームは前回代表3人（塩田、紺野、高橋）今春インカレで4年生として活躍した3人（番場、加藤、小泉）そして現役学生の5人（宮内、田島、黒河、西尾、新宅）とバランスのとれた構成となっている。

今回は女子の伊藤恭子（筑波大学卒）がショート予選通過、男子でもショートで高橋、紺野がボーダー、クラシックで紺野が対トップ比120%などの成績を収めている。今回も宮内、番場、塩田、紺野、高橋は既に日本トップレベルの実力があり、他の代表選手も彼らを目指してレベルアップしているため、前回以上の成績が期待される。チームとしては、複数人のショート予選通過、クラシックの対トップ比120%以内を目標としている。

今回の代表選手から2005年の世界選手権代表も何人が生まれることが予想される。今回の選手権の成績に注目するとともに、選手への応援、激励をお願いしたい。以下に各選手を紹介する。なお、オフィシャルとして、加賀屋博文（日本学生オリエンテーリング連盟理事、渋谷で走る会）加賀屋寿理（渋谷で走る会）尾上秀雄（スコード強化部、サン・スーシ）の3名が同行する。



全日本パークOの会場で、小野清子JOA会長より激励を受ける選手たち

## 宮内佐季子（京都大学）



主な成績：2001年度学生選手権クラシック2位、全日本選手権5位  
実質2年目ながら、アドベンチャーレースで鍛えた抜群の体力を生かして堂々選考会1位通過。技術的にはまだまだ下手と言いつつも、インカレ、全日本など大舞台では確実な結果を残している。

抱負：番場さんに勝つ。

座右の銘：自分が信じられれば良いじゃん

趣味：料理、お菓子作り、水の中を漂うこと（水泳も含む）、クライミング

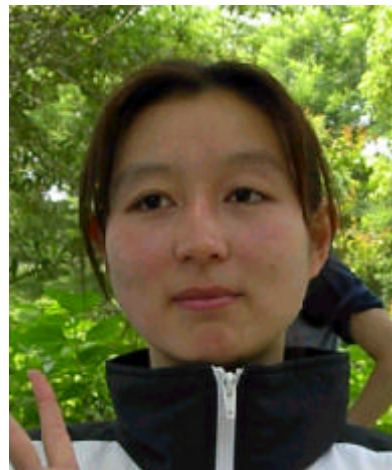
## 番場洋子（京都大学大学院）

主な成績：2000, 2001年度学生選手権クラシック優勝

インカレクラシックチャンピオン。インカレ以外にも早大OC、全日本パークO、東大会と全て優勝。全日本はペナ

だったが、その時点まではトップタイムで、今最も速い日本女子選手。

抱負：アンテナを張り巡らして、出来る限り多くの刺激を受けてこようと思います。一番大きな目標は、目標を得て帰ってくることです。1ヶ月以上の遠征はきっと最後なので、疲れ切らない程度に思い切り楽しんでこようと思います。そのために出来るだけ多くの、体力的・精神的・技術的な武器を供えて出かけようと思っています。応援よろしくをお願いします。



座右の銘：一意専心

趣味：コーヒー、お風呂

## 塩田美佐（筑波大学大学院）

主な成績：2001年度日本ランキング1位、ワールドゲームス26位

前回代表で昨年の世界選手権・ワールドゲームス代表でもあり、今回の女子選手では一番の経験者。抜群のスピードを誇る日本女子を代表する選手で、



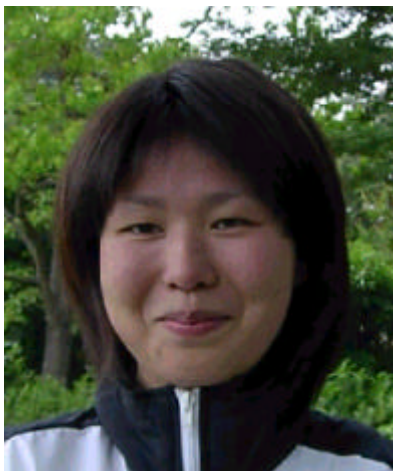
フラットなトレインでは男子並みのスピードがある。



抱負：今回のユニバは、私にとって、“挑戦”です。（有森さんが言ったように）、ユニバのレースを終えて自分を誉められるように頑張ります。そして、何かひとつ、「自信」を吸収したいと思っています。その自信が次へのステップになると確信しつつ・・・。  
座右の銘：「自信」（「自信」があるという意味ではなくて、自信を持てば何事も大丈夫、きっといい方向に向かう、という意味）  
趣味：運動すること、ジグソーパズル

### 田島聖子（東京女子大学）

主な成績：2001年度学生選手権ショート優勝  
昨年のJWOC代表で、インカレショートチャンピオン。勢子辻の微地形地帯が大好き！というだけあって技術的レベルは高い。課題の体力面も他選手の刺激を受けて改善されてきている。

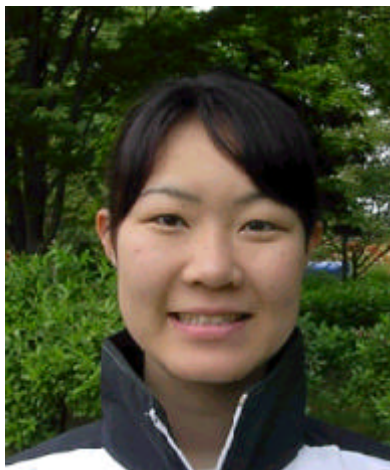


抱負：ユニバに向けて（というよりも常に）理想は、オリエン大好き！と山に飛び込んでいく感じです。最近気持ちがついていかなることがあるので、頭をしっかりと整理していい精神状態で走れるようにしたいです。色々な

面で足りていないですが、そこは気合でカバーします。  
座右の銘：守拙  
趣味：書道・散歩

### 黒河幸子（筑波大学）

主な成績：2001年度学生選手権ショート3位、東大大会WE5位  
選考会は推薦通過だが、初エリートの東大大会で堂々の5位入賞。レベルの高い他の女子メンバーにもひけをとらない実力を身につけてきた。  
抱負：2000年JWOCで経験した“オリエンテーリングが出来ないレース”を繰り返すことはしたくないです。ルートを立てて、自分の取れるC.P.を設定し、C.P.をチェックして進み、アタックしてポストをとる。それをユニバと言う舞台でもできるところを目標としています。私は大学生なのでその先に大きくインカレというものがあります。ユニバに向けて努力をすること、考えること、体験することが日本で自分や、周りの人をわくわくさせる選手に成長できることにもつながると思っています。



座右の銘：勝てば負けない  
趣味：オリエンテーリング、テレビ

### 紺野俊介（早稲田大学卒）

（株）PFU勤務、横浜OLクラブ）  
主な成績：1999、2000年度学生選手権ショート優勝、東大大会ME2位  
前回代表。過去海外のレースでは日本のレース以上のパフォーマンスを発揮している。仕事が忙しくコンディションづくりに苦労しているが、東大大会は2位としっかり結果を残している。  
抱負：2回目のユニバ出場です。自分の結果（ショートAファイナルが目標）も重要ですが、2005年世界選手権が迫ってきている今、日本チームとしての結果がさらに重要です。世界との差を肌で感じ

ると共に、日本の強さを世界に思い知らせたいと思います。（思いしらされるかもしれませんが・・・）。期待以上の活躍ができるよう頑張ります。応援よろしくお願い致します。



座右の銘：成せばなる  
趣味：オリエンテーリング、睡眠、飲み

### 高橋善徳（筑波大学大学院修了）

茨城県立境西高校勤務、つくばROC）  
主な成績：1999年度学生選手権クラシック優勝、2001年度世界選手権代表前回代表。昨年の世界選手権代表でもあり、男子では最も経験がある選手。走力、技術のバランスに優れ、安定感が一番。真摯にオリエンテーリングに取り組む姿勢は若い選手にも大きな影響を与えるだろう。



抱負：目標はショートAfinal。そして20位前後の成績をとること。前回のユニバよりも確実にレベルアップした数字としての結果を残したい。現状の認識としては、自分はまだまだ甘いところがあると感じている（東大大会終了後）。今のままであったら、ショート決勝で20位前後はおろか予選を通過することもできな



いだろう。しかし今の時点で現状をしっかりと把握できたことはむしろ良かったと感じている。日本のトップとの差をしっかりと認識し、そのトップを常に意識してトレーニング、合宿をこなしたい。自分は走力的にも、技術的にもトップ選手のようなセンスはないと思う。でも、自分には地道に謙虚に、努力する、そういう武器がある。ユニバまでの残りの期間、悔いだけは残さないよう1から体と技術を作るつもりで取り組むことを約束したい。

座右の銘：早寝早起き

趣味：トレーニング、昼寝

## 加藤弘之（東京大学大学院）

主な成績：2000年度学生選手権ショート2位、2001年度学生選手権クラシック7位

選考会では紺野、高橋と遜色ないタイムで通過。番場とともに99年ブルガリアJWOC代表で、今回のトレインも十分知り尽くしている。大学院では運動に関わる研究室に所属し、日々周りから良い刺激を受けている。



抱負：3回目の海外戦であり、今までの2回で自分をコントロールできず、納得の行くレースが出来ていないことが非常に悔いが残っています。

今回は、ユニバ前に大会に2つ参加することで海外でのレース感を取り戻し、きちっと自分の走りをします。日本人の可能性を感じることができれば最高です。

座右の銘：天才は有限、努力は無限。

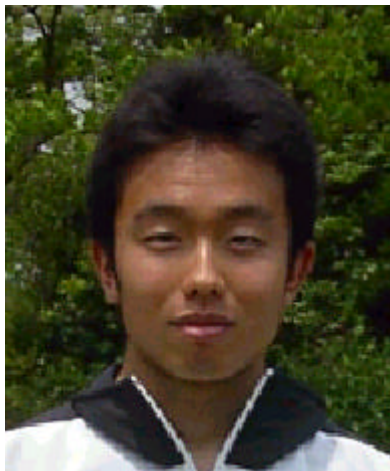
趣味：オリエンテーリング。スポーツをみること、やること。

## 西尾信寛（京都大学）

主な成績：2001年度学生選手権クラシック14位

最近目立った成績を残していなかった

が、選考会ではベストレースで堂々4位通過。勝負強さを見せた。代表決定でモチベーションが向上しており、更なる速さの上積みが期待できる。



抱負：ユニバ最初のレースであるクラシック当日（8月21日）は僕の22歳の誕生日です。自分自身に最高のプレゼントが送れるよう、それに見合うだけの最高の準備をしようと日々精進しております。目標はクラシックで快走することと、2年前JWOCでなし得なかった口惜しい思いの借りを返すこと、すなわちショート予選通過ならびにチーム一丸となって世界に日本あり、と示すこと。現実をよくよく客観視し、目標をしっかりと絞って自分達のレベルを上げて行くことができれば可能性は十分あると考えています。みなさんのご期待に添えるようこれからも頑張ります！

座右の銘：継続は力なり

趣味：スキー、登山、オリエンテーリング、サッカー、ギター、建築、読書、昼寝

## 小泉成行（筑波大学）

主な成績：2001年度学生選手権クラシック優勝

インカレクラシックチャンピオン。選考会は推薦通過ながらも実力は十分。インカレのインタビューでオリエンテーリング界全体のことを考えたコメントを出すなど視野が広く、今回のユニバも競技生活の1ステップと位置付けている。

抱負：目標はショート決勝進出。そして、その目標をクリアするために、どういう準備が必要か、今足りないものはなにか、より効率的にするためにどうすればいいかを探る過程が好きなのですが、今回はその過程において今までにない高揚感を味わうことができます。大会本番が早く来ないかと心を踊らしながら、結果を残すために冷静に

準備をすすめる。こんな状況がとても心地よいです。



座右の銘：「孫子」の「夫れ未だ戦わずして廟算して勝つ者は算を得ること多ければなり」（確実に勝つために必要な準備をすれば、戦う前から勝ちが決まっている）

趣味：オリエンテーリングとそのついでの観光

## 新宅有太（京都大学）

主な成績：2001年度学生選手権ショート5位

今回の代表最年少。大学3年生であるが、インカレショート5位など実績は十分。選考会もうまくまとめたレースで推薦通過。他の若い選手への刺激になるようなパフォーマンスに期待。

抱負：若さを武器にブルガリアで大暴れしたい。いつもの僕はいろいろ遅いですが、夏の僕は速いです。

